



## 2019年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2019年5月8日

上場会社名 株式会社 バッファロー

上場取引所 東

コード番号 3352 URL <https://www.buffalo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 裕二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 日下部 直喜

TEL 048-227-8860

定時株主総会開催予定日 2019年6月18日

配当支払開始予定日 2019年6月19日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月19日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	8,780	0.7	435	20.9	476	18.4	338	28.3
2018年3月期	8,717	1.9	360	96.3	402	70.1	263	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	154.15		7.0	7.1	5.0
2018年3月期	124.35		5.9	6.3	4.1

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	6,801	4,974	73.1	2,231.14
2018年3月期	6,663	4,640	69.6	2,144.73

(参考) 自己資本 2019年3月期 4,974百万円 2018年3月期 4,640百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	550	103	205	1,835
2018年3月期	774	39	200	1,594

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		15.00		15.00	30.00	63	24.1	1.4
2019年3月期		15.00		20.00	35.00	77	22.7	1.6
2020年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00		26.2	

(注) 2019年3月期における1株当たり期末配当金につきましては、15円から20円に変更しております。詳細につきましては、本日(2019年5月8日)公表いたしました「剰余金の配当(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,870	1.0	456	4.7	500	4.9	340	0.5	152.49

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	2,229,790 株	2018年3月期	2,163,833 株
期末自己株式数	2019年3月期	137 株	2018年3月期	137 株
期中平均株式数	2019年3月期	2,195,042 株	2018年3月期	2,120,232 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手について)

当社は、2019年5月14日(火)にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(表示方法の変更)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. その他	13
仕入及び販売の状況	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国の経済は、西日本集中豪雨や相次ぐ地震など自然災害の発生による影響を受けながらも、底堅い設備投資と雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外においては、米中間の貿易摩擦が激しさを増す中で中国経済の減速傾向が鮮明となり、また英国のEU離脱問題が長期化するなど先行きに対する不透明感が高まりました。内需環境につきましては、良好な雇用・所得環境が消費を下支えしておりますが、物価の上昇や消費税率の引き上げを控え、消費者の節約志向は根強いものとなっております。

国内カー用品市場におきましては、軽自動車の新車販売台数が回復基調で推移したほか、報道により注目度の高まったドライブ・レコーダーの需要が拡大しました。反面、カーナビゲーション市場の縮小は依然として継続しており、市場全体の活性化には至っていない状況にあります。

このような環境において当社は、顧客満足度向上のための接客・接客力の強化に対する継続的な取り組みとともに、メンテナンス会員数の拡大による固定客の獲得に注力してまいりました。販売施策といたしましては、中期的に成長を続けてきた迅速・廉価に車体を補修できる板金・塗装サービス「クイック・エコ・リペア」の拡販と、車の美観を向上させるボディコーティングやヘッドライトコーティングメニューへの訴求による新たな需要取り込みを行い、車検・サービス部門の売上高は前事業年度比7.7%増となりました。また、タイヤの地域シェア拡大への取り組みとして、幅広い価格帯に対応した品揃えによる売場の充実化と販売数量の底上げに注力した結果、大規模な降雪による需要増の発生した前事業年度と比べ冬用タイヤ及びホイールは大幅減となる一方、夏用タイヤの販売増によりタイヤ・ホイール部門は同0.2%減の微減となっております。アクセサリ・メンテナンス用品部門はタイヤチェーン等冬季商品の需要減少により同4.7%減となり、カーエレクトロニクス部門はドライブ・レコーダーの販売が大幅に増加しましたが、カーナビゲーションの販売減少により同1.8%減となりました。

なお、中期施策として固定顧客化による安定的な収益確保と自動車事故時の修理サービス等への相乗効果を図るべく、継続して取り組みを行っている自動車保険代理店事業につきましては、手数料収益が順調に拡大し業績に寄与しております。

以上の結果、当事業年度の経営成績は売上高8,780,184千円(前事業年度比0.7%増)、営業利益435,500千円(同20.9%増)、経常利益476,432千円(同18.4%増)、当期純利益338,373千円(同28.3%増)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度末における総資産は、前事業年度末に比べ2.1%、138,639千円増加し6,801,846千円となりました。

これは主に、商品及び差入保証金の減少に対して、現金及び預金、売掛金の増加等があったためであります。

#### (負債)

負債は、前事業年度末に比べ9.7%、195,492千円減少し1,827,176千円となりました。これは主に、買掛金、退職給付引当金の増加に対して、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)、未払法人税等及び未払金の減少等があったためであります。

#### (純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ7.2%、334,132千円増加し4,974,669千円となりました。これは主に、配当金の支払に対して、当期純利益の計上、新株発行による資本金及び資本剰余金の増加等があったためであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ240,850千円増加し1,835,011千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動の結果得られた資金は、550,093千円となりました。これは主に、法人税等の支払額191,584千円に対して、税引前当期純利益の計上473,543千円、減価償却費の計上119,049千円、棚卸資産の減少85,272千円及び差入保証金の減少額77,378千円等があったためであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は、103,501千円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入220,400千円に対して、定期預金の預入による支出216,500千円及び有形固定資産の取得による支出117,218千円等があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動の結果使用した資金は、205,741千円となりました。これは主に、株式の発行による収入による29,936千円に対して、長期借入金の返済による支出138,048千円、リース債務の返済による支出32,228千円及び配当金の支払額65,400千円があったためであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期
自己資本比率(%)	74.2	73.4	70.2	69.6	73.1
時価ベースの自己資本比率(%)	29.6	26.2	27.5	36.2	29.3
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率(年)	50.3	1.7	2.1	0.7	0.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	1.4	52.2	65.2	206.1	215.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 各指標は、いずれも財務数値により算出しております。

2. 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

3. 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

4. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式を除く）により算出しております。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、海外において中国経済の減速による国際貿易の停滞が懸念され、また、国内では安定的な雇用情勢を背景に所得の拡大が期待される一方、物価の上昇と消費税率引き上げに伴う消費支出の引き締めが見込まれるなど、景気の回復は鈍いものとなることが予測されます。

カー用品市場におきましては、少子高齢化とライフスタイルの変化による自動車保有台数の減少が継続しており、また、ネット事業者をはじめとした異業種の参入により価格競争の激化が見込まれるなど、事業環境は引き続き厳しい状況が続くものと予想しております。

このような環境のもと当社は2020年3月期から2024年3月期を対象とする5ヶ年の中期経営計画「2019 中期経営計画」を策定し、本日（2019年5月8日）公表いたしました。「クルマのことならオートボックス」の実践を通じ、オートボックスFCチェーン屈指の接客・接客力とピットサービスの技術力を土台とする地域ナンバーワンの店づくりを目指すとともに、今後より厳しさを増す経営環境に立ち向かうための強力な経営基盤を再構築することにより、業績向上と更なる企業成長を図ってまいります。

2020年3月期の業績につきましては、売上高8,870,000千円（当事業年度比1.0%増）、営業利益456,000千円（同4.7%増）、経常利益500,000千円（同4.9%増）、当期純利益340,000千円（同0.5%増）を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、日本基準及び国際会計基準による並行開示の負担等を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,712,460	1,947,011
売掛金	407,436	463,820
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	2,400	2,400
商品	1,025,497	940,219
前払費用	110,256	125,411
未収入金	170,111	169,008
その他	7,724	10,945
流動資産合計	3,435,886	3,658,815
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,536,990	1,570,893
減価償却累計額	△740,515	△767,338
建物(純額)	796,474	803,555
構築物	361,764	365,732
減価償却累計額	△227,746	△241,454
構築物(純額)	134,018	124,277
機械及び装置	170,636	194,081
減価償却累計額	△77,423	△85,801
機械及び装置(純額)	93,213	108,280
車両運搬具	76,622	77,732
減価償却累計額	△75,071	△72,267
車両運搬具(純額)	1,551	5,465
工具、器具及び備品	236,170	244,577
減価償却累計額	△187,183	△198,831
工具、器具及び備品(純額)	48,986	45,745
土地	686,694	686,694
リース資産	363,787	211,568
減価償却累計額	△284,984	△158,034
リース資産(純額)	78,803	53,534
有形固定資産合計	1,839,741	1,827,553
無形固定資産		
投資その他の資産	5,496	6,095
関係会社株式	17,991	17,760
関係会社長期貸付金	21,200	8,600
長期前払費用	103,182	95,556
繰延税金資産	390,787	391,687
差入保証金	840,053	784,303
その他	8,869	11,475
投資その他の資産合計	1,382,083	1,309,382
固定資産合計	3,227,321	3,143,030
資産合計	6,663,207	6,801,846

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	239,608	285,644
1年内返済予定の長期借入金	138,048	116,708
リース債務	32,228	20,557
未払金	177,630	132,690
未払費用	66,612	69,469
未払法人税等	134,625	78,646
前受金	60,758	88,265
預り金	21,690	33,558
前受収益	45,802	49,895
賞与引当金	169,472	171,337
ポイント引当金	22,645	5,950
その他	85,732	48,042
流動負債合計	1,194,855	1,100,765
固定負債		
長期借入金	280,188	163,480
リース債務	60,043	39,486
退職給付引当金	399,144	436,151
資産除去債務	80,657	82,159
その他	7,781	5,134
固定負債合計	827,814	726,411
負債合計	2,022,669	1,827,176
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,499	586,192
資本剰余金		
資本準備金	530,171	560,798
資本剰余金合計	530,171	560,798
利益剰余金		
利益準備金	35,575	35,575
その他利益剰余金		
別途積立金	3,200,000	3,300,000
繰越利益剰余金	318,917	491,890
利益剰余金合計	3,554,492	3,827,465
自己株式	△117	△117
株主資本合計	4,640,046	4,974,339
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	490	330
評価・換算差額等合計	490	330
純資産合計	4,640,537	4,974,669
負債純資産合計	6,663,207	6,801,846

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	8,717,405	8,780,184
売上原価		
商品期首たな卸高	1,045,290	1,025,497
当期商品仕入高	4,318,182	4,284,044
合計	5,363,473	5,309,541
商品期末たな卸高	1,025,497	940,219
商品売上原価	4,337,976	4,369,321
売上総利益	4,379,429	4,410,862
販売費及び一般管理費	4,019,109	3,975,361
営業利益	360,319	435,500
営業外収益		
受取利息及び配当金	10,503	10,345
受取手数料	13,242	13,676
受取協賛金等	8,065	9,831
廃バッテリー売却益	9,251	6,312
受取保険金	3,476	6,736
その他	13,109	11,881
営業外収益合計	57,649	58,784
営業外費用		
支払利息	3,821	2,604
固定資産除却損	7,783	6,967
店舗復旧費用	2,545	6,793
その他	1,258	1,486
営業外費用合計	15,409	17,852
経常利益	402,559	476,432
特別損失		
減損損失	5,163	2,889
特別損失合計	5,163	2,889
税引前当期純利益	397,395	473,543
法人税、住民税及び事業税	154,716	135,999
法人税等調整額	△20,965	△829
法人税等合計	133,750	135,169
当期純利益	263,645	338,373



(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	510,506	485,244	485,244	35,575	3,200,000	127,962	3,363,537
当期変動額							
新株の発行	44,993	44,926	44,926				
剰余金の配当						△72,690	△72,690
当期純利益						263,645	263,645
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	44,993	44,926	44,926	—	—	190,955	190,955
当期末残高	555,499	530,171	530,171	35,575	3,200,000	318,917	3,554,492

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価 差額金	評価・換算差額等合 計	
当期首残高	△117	4,359,171	134	134	4,359,306
当期変動額					
新株の発行		89,920			89,920
剰余金の配当		△72,690			△72,690
当期純利益		263,645			263,645
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			356	356	356
当期変動額合計	—	280,875	356	356	281,231
当期末残高	△117	4,640,046	490	490	4,640,537

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	555,499	530,171	530,171	35,575	3,200,000	318,917	3,554,492
当期変動額							
新株の発行	30,693	30,627	30,627				
剰余金の配当						△65,400	△65,400
当期純利益						338,373	338,373
別途積立金の積立					100,000	△100,000	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	30,693	30,627	30,627	—	100,000	172,972	272,972
当期末残高	586,192	560,798	560,798	35,575	3,300,000	491,890	3,827,465

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価 差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	△117	4,640,046	490	490	4,640,537
当期変動額					
新株の発行		61,320			61,320
剰余金の配当		△65,400			△65,400
当期純利益		338,373			338,373
別途積立金の積立		—			—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			△160	△160	△160
当期変動額合計	—	334,292	△160	△160	334,132
当期末残高	△117	4,974,339	330	330	4,974,669

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	397,395	473,543
減価償却費	113,942	119,049
減損損失	5,163	2,889
賞与引当金の増減額(△は減少)	64,652	1,865
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△14,655	△16,695
退職給付引当金の増減額(△は減少)	27,693	37,007
受取利息及び受取配当金	△10,503	△10,345
支払利息	3,821	2,604
有形固定資産除売却損益(△は益)	7,783	6,967
受取保険金	△3,476	△6,736
差入保証金の増減額(△は増加)	80,713	77,378
売上債権の増減額(△は増加)	△23,100	△56,383
たな卸資産の増減額(△は増加)	19,918	85,272
未収入金の増減額(△は増加)	△16,995	1,103
仕入債務の増減額(△は減少)	59,213	46,035
前受金の増減額(△は減少)	15,328	27,506
未払金の増減額(△は減少)	94,974	△42,994
未払消費税等の増減額(△は減少)	60,029	△39,277
その他	31,581	28,320
小計	913,481	737,109
利息及び配当金の受取額	540	382
保険金の受取額	3,476	6,736
利息の支払額	△3,758	△2,551
法人税等の支払額	△138,976	△191,584
営業活動によるキャッシュ・フロー	774,763	550,093
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△216,500	△216,500
定期預金の払戻による収入	216,200	220,400
有形固定資産の取得による支出	△39,337	△117,218
長期貸付金の回収による収入	2,400	12,600
差入保証金の回収による収入	-	1,000
差入保証金の差入による支出	△1,000	△2,703
その他	△1,713	△1,080
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,950	△103,501
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△154,376	△138,048
リース債務の返済による支出	△33,484	△32,228
株式の発行による収入	59,736	29,936
配当金の支払額	△72,690	△65,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△200,814	△205,741
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	533,998	240,850
現金及び現金同等物の期首残高	1,060,161	1,594,160
現金及び現金同等物の期末残高	1,594,160	1,835,011

(5) 財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日。以下「税効果会計基準一部改正」という。)を当事業年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」142,867千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」390,787千円に含めて表示しております。

(損益計算書)

前事業年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「受取保険金」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当事業年度より独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の損益計算書の組み替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた16,586千円は、「受取保険金」3,476千円及び「その他」13,109千円として組み替えております。

(キャッシュ・フロー計算書)

「営業活動によるキャッシュ・フロー」における「受取保険金」及び「保険金の受取額」は、金額的重要性が増したため、当事業年度より独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度年度のキャッシュ・フロー計算書の組み替えを行っております。

この結果、前事業年度のキャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「受取保険金」△3,476千円及び「保険金の受取額」3,476千円を独立掲記するとともに、「小計」916,958千円を913,481千円に変更しております。

(持分法損益等)

当社は、関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、(株)オートボックスセブンが運営する「オートボックスフランチャイズチェン」のフランチャイジーとして、店舗におけるカー用品の販売及び取り付けサービスについての包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、各店舗を基礎としたカー用品販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	カーエレクトロニクス	タイヤ・ホイール	アクセサリ ー・メンテナ ンス用品	車検・サービ ス	その他	合計
外部顧客への売上高	1,215,935	2,113,129	1,855,495	2,475,689	1,057,154	8,717,405

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	カーエレクトロニクス	タイヤ・ホイール	アクセサリ ー・メンテナ ンス用品	車検・サービ ス	その他	合計
外部顧客への売上高	1,194,338	2,109,888	1,768,388	2,665,251	1,042,267	8,780,184

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

当社は、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

当社は、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	2,144円73銭	2,231円14銭
1株当たり当期純利益	124円35銭	154円15銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益(千円)	263,645	338,373
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(千円)	263,645	338,373
期中平均株式数(株)	2,120,232	2,195,042

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

仕入及び販売の状況

① 仕入実績

当事業年度の商品仕入実績を事業所別に示すと、次のとおりであります。

事業所の名称	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		備考
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	
オートボックス川口店	316,459	7.3	315,584	7.4	
オートボックス東浦和店	226,265	5.2	212,959	5.0	
オートボックス北浦和店	321,442	7.4	329,916	7.7	
オートボックス坂戸店	235,967	5.5	238,544	5.6	
スーパーオートボックス TODA	515,778	11.9	494,259	11.5	
オートボックス254朝霞店	184,979	4.3	189,255	4.4	
スーパーオートボックス 大宮バイパス	529,585	12.3	522,589	12.2	
オートボックス桶川店	288,994	6.7	296,482	6.9	
オートボックス岩槻加倉店	258,796	6.0	276,343	6.5	
オートボックス入間店	113,244	2.6	111,596	2.6	
オートボックス狭山店	174,711	4.0	182,742	4.3	
オートボックス川越店	218,543	5.1	211,975	4.9	
オートボックス環七板橋店	265,233	6.1	245,163	5.7	
スーパーオートボックス 環七王子神谷	438,760	10.2	440,448	10.3	
オートボックス練馬店	228,865	5.3	216,345	5.1	
その他	552	0.0	△162	0.0	
合計	4,318,182	100.0	4,284,044	100	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当事業年度の商品販売実績を事業所別に示すと、次のとおりであります。

事業所の名称	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		備考
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	
オートボックス川口店	709,841	8.1	729,010	8.3	
オートボックス東浦和店	490,925	5.6	469,776	5.4	
オートボックス北浦和店	611,968	7.0	608,221	6.9	
オートボックス坂戸店	516,583	5.9	523,039	6.0	
スーパーオートボックス TODA	939,933	10.8	916,210	10.4	
オートボックス254朝霞店	413,035	4.7	421,029	4.8	
スーパーオートボックス 大宮バイパス	959,881	11.0	979,150	11.2	
オートボックス桶川店	642,556	7.4	660,298	7.5	
オートボックス岩槻加倉店	547,878	6.3	564,431	6.4	
オートボックス入間店	237,665	2.7	233,169	2.7	
オートボックス狭山店	357,308	4.1	371,781	4.2	
オートボックス川越店	426,476	4.9	443,383	5.0	
オートボックス環七板橋店	528,138	6.1	519,275	5.9	
スーパーオートボックス 環七王子神谷	829,370	9.5	827,980	9.4	
オートボックス練馬店	474,987	5.4	475,149	5.4	
その他	30,853	0.4	38,275	0.4	
合計	8,717,405	100.0	8,780,184	100	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。



③ 品目別販売実績

当事業年度の商品販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
車検・サービス	2,475,689	28.4	2,665,251	30.4
タイヤ・ホイール	2,113,129	24.2	2,109,888	24.0
アクセサリ・メンテナンス用品	1,855,495	21.3	1,768,388	20.1
カーエレクトロニクス	1,215,935	13.9	1,194,388	13.6
オイル・バッテリー	709,994	8.1	723,215	8.2
車販売	231,826	2.7	218,170	2.5
その他	115,333	1.3	100,881	1.1
合計	8,717,405	100.0	8,780,184	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 各品目の主な内容は、次のとおりであります。

品目	主な内容
車検・サービス	オイル交換、タイヤ交換、各種用品取付、板金・塗装、車検・整備、ボディーコーティング、ヘッドライトコーティング、車内クリーニング
タイヤ・ホイール	夏用タイヤ、冬用タイヤ、アルミ・スチールホイール
アクセサリ・メンテナンス用品	チャイルドシート、キャリア、チェーン、車内アクセサリ、ドレスアップ用品(ステアリング、シート、ランプ等)、チェーンナップ用品(エアロパーツ、マフラー、サスペンション等)、省燃費用品等
カーエレクトロニクス	カーナビゲーション、カーTV、ドライブレコーダー、DVD・CD・MDプレーヤー、スピーカー、アンプ、接続具等
オイル・バッテリー	国産・輸入エンジンオイル、国産車用・外車用バッテリー
車販売	新車及び中古自動車